2023年3月期 第3四半期決算短信（日本基準）（連結）

2023年2月10日

上場会社名　東亜道路工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　1882　URL https://www.toadoro.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）森下　協一
問合せ先責任者　（役職名）経理部長　（氏名）戸倉　克夫　TEL 03-3405-1812
四半期報告書提出予定日　2023年2月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	84,071	7.0	1,567	△45.5	1,732	△41.1	1,018	△44.0
2022年3月期第3四半期	78,567	20.4	2,874	△5.4	2,941	△5.7	1,819	△6.9

（注）包括利益　2023年3月期第3四半期　976百万円　（△47.8%）　2022年3月期第3四半期　1,871百万円　（△19.9%）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	215.26	―
2022年3月期第3四半期	373.18	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	83,950	50,440	58.5
2022年3月期	84,691	50,466	57.9

（参考）自己資本　2023年3月期第3四半期　49,096百万円　2022年3月期　49,073百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	―	―	―	180.00	180.00
2023年3月期	―	―	―		
2023年3月期（予想）				180.00	180.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2023年 3月期の連結業績予想（2022年 4月 1日～2023年 3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	117,000	4.4	6,800	23.3	6,700	19.9	4,500	21.2	944.79

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	5,220,023 株	2022年3月期	5,220,023 株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	467,665 株	2022年3月期	457,061 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	4,730,448 株	2022年3月期3Q	4,874,727 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではございません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 1
（１）経営成績に関する説明 …… 1
（２）財政状態に関する説明 …… 1
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 1
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 2
（１）四半期連結貸借対照表 …… 2
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 4
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（セグメント情報等） …… 7
３．その他 …… 9
生産、受注及び販売の状況 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続する中でも経済活動の正常化が期待される一方、世界的な金融引き締め等を背景とした景気の変動や、物価の上昇、ロシアによるウクライナ進行の長期化に伴うエネルギー価格の高騰などから、先行きは依然として不透明な状況であります。

当社グループの主要事業であります道路建設業界におきましては、防災・減災、国土強靭化等により建設需要は底堅く推移しており、民間設備投資も回復傾向にあるものの、原材料価格は高水準で推移しており、経営環境は引き続き厳しい状況のもと推移いたしました。

このような状況下におきまして、当社グループの当第３四半期連結累計期間における受注高は89,713百万円（前年同四半期連結累計期間比9.5％増加）となり、売上高は84,071百万円（前年同四半期連結累計期間比7.0％増加）となりました。

損益につきましては、営業利益は1,567百万円（前年同四半期連結累計期間比45.5％減少）、経常利益は1,732百万円（前年同四半期連結累計期間比41.1％減少）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,018百万円（前年同四半期連結累計期間比44.0％減少）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①建設事業

当第３四半期連結累計期間における受注高は52,909百万円（前年同四半期連結累計期間比7.4％増加）となりました。完成工事高は47,267百万円（前年同四半期連結累計期間比0.6％増加）となり、セグメント利益は913百万円（前年同四半期連結累計期間比50.7％減少）となりました。

②建設材料等の製造販売・環境事業等

当第３四半期連結累計期間における売上高は36,803百万円（前年同四半期連結累計期間比16.5％増加）、セグメント利益は2,167百万円（前年同四半期連結累計期間比15.6％減少）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は、83,950百万円となり、前連結会計年度末と比較して741百万円の減少となりました。主な要因は、現金預金が2,161百万円、受取手形・完成工事未収入金等が2,536百万円減少したこと等によります。

負債合計は、33,509百万円となり、前連結会計年度末と比較して715百万円の減少となりました。主な要因は、未払法人税等が584百万円、長期借入金が386百万円減少したこと等によります。

純資産合計は、50,440百万円となり、前連結会計年度末と比較して25百万円減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,018百万円の計上、株主配当金857百万円の支払い等によります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年３月期の業績予想につきましては、アスファルト等の原材料価格が高騰しておりますが、建設事業におきましては受注高は順調に推移しており、製造販売・環境事業等におきましては原材料価格上昇分の販売価格への転嫁が進んでいることから、現時点におきましては、2022年５月13日に発表いたしました業績予想の内容に変更はございません。今後の業績推移に応じて修正が必要になった場合は適切に開示してまいります。

また、前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	11,649	9,487
受取手形・完成工事未収入金等	39,680	37,144
未成工事支出金	1,399	4,081
商品及び製品	1,046	988
仕掛品	224	607
材料貯蔵品	1,580	1,227
その他	2,789	3,566
貸倒引当金	△121	△58
流動資産合計	58,249	57,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,047	13,232
機械装置及び運搬具	27,902	28,182
土地	12,135	12,375
リース資産	633	814
建設仮勘定	95	305
その他	2,480	2,554
減価償却累計額	△35,702	△36,661
有形固定資産合計	20,592	20,803
無形固定資産	396	370
投資その他の資産		
投資有価証券	3,944	4,132
長期貸付金	283	280
退職給付に係る資産	846	864
繰延税金資産	145	264
その他	371	332
貸倒引当金	△138	△143
投資その他の資産合計	5,453	5,732
固定資産合計	26,442	26,905
資産合計	84,691	83,950

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2022年３月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	23,138	16,602
電子記録債務	－	6,298
短期借入金	1,328	1,648
未払法人税等	1,011	426
未成工事受入金	1,913	2,608
完成工事補償引当金	32	30
工事損失引当金	55	78
その他	3,596	3,055
流動負債合計	31,075	30,747
固定負債		
長期借入金	586	200
繰延税金負債	727	570
再評価に係る繰延税金負債	1,044	1,044
退職給付に係る負債	427	451
資産除去債務	53	54
その他	312	442
固定負債合計	3,150	2,762
負債合計	34,225	33,509
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,584	7,584
資本剰余金	6,986	7,105
利益剰余金	33,419	33,580
自己株式	△1,606	△1,722
株主資本合計	46,383	46,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,789	1,677
土地再評価差額金	652	652
退職給付に係る調整累計額	246	218
その他の包括利益累計額合計	2,689	2,548
非支配株主持分	1,392	1,344
純資産合計	50,466	50,440
負債純資産合計	84,691	83,950

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2021年４月１日 至 2021年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2022年４月１日 至 2022年12月31日）
売上高	78,567	84,071
売上原価	70,244	76,842
売上総利益	8,323	7,228
販売費及び一般管理費	5,448	5,661
営業利益	2,874	1,567
営業外収益		
受取利息	6	3
受取配当金	107	147
貸倒引当金戻入額	3	3
その他	38	74
営業外収益合計	155	229
営業外費用		
支払利息	24	19
金融手数料	23	19
支払手数料	－	8
投資有価証券評価損	26	－
その他	13	16
営業外費用合計	87	62
経常利益	2,941	1,732
特別利益		
固定資産売却益	42	41
その他	0	－
特別利益合計	42	41
特別損失		
固定資産売却損	9	0
固定資産除却損	43	89
その他	－	0
特別損失合計	52	89
税金等調整前四半期純利益	2,931	1,684
法人税等	1,013	566
四半期純利益	1,918	1,117
非支配株主に帰属する四半期純利益	99	99
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,819	1,018

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2021年４月１日 至 2021年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2022年４月１日 至 2022年12月31日）
四半期純利益	1,918	1,117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39	△112
土地再評価差額金	△5	－
退職給付に係る調整額	△1	△28
その他の包括利益合計	△46	△141
四半期包括利益	1,871	976
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,772	877
非支配株主に係る四半期包括利益	99	99

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2021年４月１日　至　2021年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント		
	建設事業	製造販売・環境事業等	計
売上高			
外部顧客への売上高	46,967	31,600	78,567
セグメント間の内部売上高又は振替高	63	883	947
計	47,030	32,484	79,515
セグメント利益	1,854	2,566	4,421

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	4,421
セグメント間取引消去	△7
全社費用(注)	△1,539
四半期連結損益計算書の営業利益	2,874

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2022年４月１日　至　2022年12月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		
	建設事業	製造販売・環境事業等	計
売上高			
外部顧客への売上高	47,267	36,803	84,071
セグメント間の内部売上高又は振替高	26	768	794
計	47,294	37,571	84,866
セグメント利益	913	2,167	3,080

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,080
セグメント間取引消去	21
全社費用(注)	△1,534
四半期連結損益計算書の営業利益	1,567

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

３．その他

（１）生産、受注及び販売の状況

事業別受注・売上・次期繰越高

区分			前第３四半期連結累計期間 自　2021年４月１日 至　2021年12月31日		当第３四半期連結累計期間 自　2022年４月１日 至　2022年12月31日	
			金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	構成比 （%）
前期繰越高	建設事業	舗装工事	24,763	75.7	20,341	64.4
		土木工事	9,054	27.7	11,230	35.6
		計	33,817	103.4	31,572	100.0
	製造販売・環境事業等		△1,104	△3.4	－	－
	合　計		32,713	100.0	31,572	100.0
受注高	建設事業	舗装工事	39,331	48.0	42,533	47.4
		土木工事	9,932	12.1	10,375	11.6
		計	49,263	60.1	52,909	59.0
	製造販売・環境事業等		32,705	39.9	36,803	41.0
	合　計		81,969	100.0	89,713	100.0
売上高	建設事業	舗装工事	39,500	50.3	39,243	46.7
		土木工事	7,467	9.5	8,024	9.5
		計	46,967	59.8	47,267	56.2
	製造販売・環境事業等		31,600	40.2	36,803	43.8
	合　計		78,567	100.0	84,071	100.0
次期繰越高	建設事業	舗装工事	24,594	68.1	23,631	63.5
		土木工事	11,520	31.9	13,582	36.5
		計	36,114	100.0	37,213	100.0
	製造販売・環境事業等		－	－	－	－
	合　計		36,114	100.0	37,213	100.0